



マッシー-川口の
from NEW YORK from NEW YORK from NEW YORK

from New York

マンハッタンでサルサに大興奮の巻

ハロー！お元気い〜？ニューヨークは激寒ですヨ〜。ストリートを2〜3ブロック歩くだけ(1〜2分)でミミがちぎれそうよ。だからアプトのなかではホットスタッフが命。熱帯の島々の波音CDをボリュームアップして、夏の太陽の環境ビデオをバックにブルーの照明ランプ。トルテイヤチップスにサルサをディップしてバリバリやりながら、ルイス=ミゲルのCDでも聴けばモウ完璧。気分はバーチャルトロピカルよん！

ところで、毎日ハウス系だったNYのナイトクラブも、いつのまにかウィークデーにサルサやマンボで盛り上がるラテンナイトが目立ってきたの。Neil's (ネルズ) やおすすめパーモントラウンジがそうだし、「Spoon」の木曜日もラテン&ソウルデー。日曜日のソウルラウンジで黒人音楽が売り物の「Don Hill's」ではクールモダンをテーマに土曜スペシャルにSurf, Swing, Garage プラスSkaにフューチャリングしてるのも見逃せないワネ。「S.O.B's」もラテンのメッカでサルサ、レゲエ、フランメンコと日替わりメニュー。ワー、ラテンカルチャーに火がついてるゾ〜。住んでると肌で感じるモンね。WOW!

先日の土曜日、こちらのネットフレンドK氏と愉快的仲間達でマンハッタンの人気ラテンクラブ「Copacabana (コパカバナ)」に足を運んでみたの(57丁目の11Ave & 12Ave のハドソン川の近く)。店の前には黒いあのナガーイ、ステレッチリムジン。毛皮のレディーがカシミアコートの中へ消えていったすぐ後から、私達一行がぞろぞろと入場すると、なかは異次元のようだった。

サルサバンドのステージの熱く甘い生演奏にのって、広い踊り場では紳士淑女のカップル達が抱き合い、手を組み、ボディーズを重ねあって、2人組でサルサのステップを踏んでいるわけ。男性のリードでその周りをクルクル回りながら、ホールの床をハイヒールでキューツと爪先ダチしてステップ、イチ・ニ。男と女が生々しく危うくて、しかも折り目正しく色っぽく見える。どこか南国の島のリゾートホテルのダンスフロアにでもいるようなパケーションモードが気に入った。

ささやくような情熱の炎の歌声に酔いしれながら、心も身体もリラックスしてきたころには、ラムトニックとライムがほどよく舌に解け合い、踊りたい気分になってきたわ、ウズウズ。しかし、ますい!! ノリが違



う！こんなことなら、もっとドレッシーに変装してくればよかった。事前にネット友達(君のメールで「マッシーさん、あそこはボディコンとかじゃないと入れてくれないみたいですよ」の指示があったので、私なりにオニューのダルメシアンのスボツのミニドレスに黒のブーツでキメて行ったつもりだったんだけど、ワイルド系入りすぎて感じて少々場違いだったヨ〜。ここはやっぱりハイヒールでなきゃエレガントにターンもできないわよね。

いきなり隣に立ってたりカリビアン系の気のよさそうなお兄さまに「Can I dance with you?」って、一曲だけ一緒に踊って頂いたの。最初は照れるけど、ここはラテンのテーマパークみたいなトコロだから慣れれば平気。どこかに似てるナと思えば、常盤ハワイアンセンターのアップグレード版のサルサバージョンっていう気もしてきた(笑)。そこでなぜかサルサ踊りがプロ顔負けにうまかったりするKさんは「これが世に出回ってるエッチと本当のセクシーさの違いなんだよ」と意味シんな発言。踊り場に連れていかれてクルクルの手ほどきを伝授。難しいね。

この夜のサルサの演奏はジョニー・パチエンコと、レイ=Sepluvada (読めないわ)でした。プレイは最高！何唄ってるかよく分からないけど、恋のバッションやかなわぬ想いなんだそう。だ。「ミーコラソン、ミコラソン」と力が入ってたのは「オー私のココロ、私のココロよ〜」ということらしい。サルサからマンボ、そしてメレンゲへと夜はまだ始まったばかり。忘れていた記憶の底から、以前テレビのレポートでドミニカ共和国のメレンゲを取材してたとき、道ばたでドミニカ人のおじいちゃんが樹の幹をくり貫いて両側に山羊のメスとオスの皮を張って、タンポラという不思議な音の太鼓を作っていたのを思い出したの。その姿をじーっと見ている裸足の子供達に「誰にも教えてもらわなくても立派にこの太鼓が造れるんだよ。このリズムはわたらの身体の中に流れる血、そのものなんじゃ」と言って微笑んだ老人のしわがれた声が聴こえてきた。その途端に酔いが全身に。もうフラフラ〜。ここはマンハッタンに浮かぶ最後の楽園だ〜。こんな気持ちになりたいあなたはきっと私と同じラテン系のヒトね。



ラテンミュージック・オンライン (<http://www.lamusica.com>) に行くとリアルオーディオでいろいろ音源も聴けるし、クラブ情報もいっぱい。試してみてね。なお、辛い食べものの方のホットスタッフに興味のある方は<http://www.Xnet.com/hot-foods/>で、メガヒートのエンドルフィンラッシュのすごいサルサ(\$5.25)があるよ。ぶつと飛ぶよ〜。

チャオ、アディオス、アミーゴ&セニョリータ (^ ^ ; Big Smile
マッシー



illustrator : Satoko Kido



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp